

申し入れ

2021年9月6日

鎌ケ谷市長 芝田裕美様

「民主と自治の会」

藤代政夫

戸部光枝

連絡先：09024258983（藤代）

渡邊俊彦

新型コロナウイルス感染症パンデミックの中、鎌ケ谷市民の生命と暮らしを守るためご尽力くださり心より敬意を表します。

先般「7/26 付け申し入れ」に対する回答（8/20 付）をいただきました。ありがとうございます。

回答では十分分からない点がありましたので改めてお尋ねすると同時に要望もさせていただきます。

I、

Q1、I への回答で「PCR 検査の実施も計画しております」とありますが具体的にどのような計画なのでしょう？

II、

Q2、II への回答で「基礎疾患の方の全体数を把握できていないが 8/10 に基礎疾患を有するとして 4250 人の方に接種券を発送した」とありますが 4250 人の方はどのような情報から把握した人なのでしょう？

Q3、ワクチン接種状況について：今回の回答時（9/25 マデ）直近のデータについて教えてください。

*64 歳以下の方のワクチン接種率は 1 回（ ）%2 回（ ）%？

*4250 人の基礎疾患のある方のワクチン接種率 1 回、2 回は？

*エッセンシャルワーカーとしての市内高齢者施設・障害者支援施設の従事者、小中学校・保育園・幼稚園・放課後児童クラブの職員の方々のワクチン接種率は？1 回 2 回それぞれどうなのでしょう？

Q4、職域ワクチン接種が始まっていますが、市内ではどのくらいの方が接種していますか？団体数、接種者数について教えてください。

Q5、ワクチンの国からの供給が心配されます。

*鎌ケ谷市の考える接種予定数量の何%が供給されますか？

*希望する方はほぼ全員の 2 回接種が終わるのはいつ頃ですか？

III、

Q6、鎌ケ谷市の PCR 検査状況の回答をいただきましたが、高齢者施設入所者で希望者への PCR 検査の実施状況について：

*この事業の予算額・検査予定人数は？どこまで実施されていますか？実施人数と、それは入所者総数のうちの何%になりますか？

*原則 1 回でなく定期的に月 1 回の検査という方向を検討すべきです。



鎌ケ谷市は検討しませんか？

Q7、「県の事業として高齢者施設の従業員・障害者入所施設の職員・通所施設の職員に対してPCR検査が行われている」とのこと。鎌ケ谷市内の施設のどのくらいの施設で実施されているのか？どのくらいの従事者・職員が実施されているのか？（県が実施していることですが鎌ケ谷市内の実態を把握しておくべきものと思われますのでお尋ねします）

Q8、発熱外来医療機関でもPCR検査をやるようになったと思われませんが

*鎌ケ谷市内の発熱外来医療機関でのPCR検査：検査出来る検査数はどのくらいですか？

*習志野保健所にはPCR検査器が1台から2台になりました。鎌ケ谷市民がPCR検査を受けられるキャパは医療機関を含めてどのくらいですか？

Q9、鎌ケ谷市が実施しているのは、「65歳以上で高齢者施設入所者の希望者に対してPCR検査をする」ということになっていますが、どうして65歳以上の希望者全員にしなかったのですか？（国の補助事業は“65歳以上・基礎疾患のある人の希望者に対してPCR検査をする”であったはずですが）

Q10、PCR検査に関する回答で「加えて小中学校や保育所、放課後児童クラブや障害者支援施設等の利用者及び従事者等に対するPCR検査費用の助成についても検討しており」とあり前向きな姿勢うれしく思います。ではこの具体的内容はどのようなものになりますか？時期・対象者・助成額等について教えてください。

IV、

Q11、感染者の入院状況と医療機関等についての回答では、基本的には県の習志野保健所の管轄・判断といった回答ですが鎌ケ谷市として把握している必要性があると思うのでお尋ねします。

*最近小学生・中学生・保育園児・幼稚園児等の感染者が発症していますが12歳以下の方々の発症状況は無症状・軽症・中等症・重症のうちどのような方が多いのですか？

Q12、政府は医療病床の逼迫に対して「自宅療養を基本にして」（2021年8月3日の事務連絡）といい始めています。本来感染者は入院が原則のはずですが。医療崩壊の状況の中での対応と思われますが、そこで伺います。

*自宅療養中に入院できず死亡した事例はどのくらいありますか？千葉県では？東葛では？鎌ケ谷では？

*「自宅療養」「宿泊療養」は「療養」であって「医療」ではないといったそもそもの組み立てが間違っており、大きな問題を引き起こしています。

千葉県は：8/17の『自宅療養者への支援について』で「パルスオキシメータの確保、配食サービスの確保」と同時に「自宅療養者の症状が悪化した場合に備えた外来・往診等について130程度の医療機関に協力いただいております」「酸素供給に対応できる往診医や訪問看護ステーションの確保と・・・酸素濃縮装置の確保」と医療提供体制をとろうとし始めています。

柏市は:自宅療養者のうち柏保健所が必要と判断した方に対して地域の医療機関、訪問看護ステーション、薬局が連携した「在宅医療支援チーム」と市が契約した「在宅医療機器供給事業者」の医療支援によって・・・と”在宅医療支援体制“を強化しています。医療機関は電話での診療・往診・訪問看護・処方箋の発行・入院要請と訪問看護ステーション・薬局・機器提供事業者と連携して支援を強化しています。

東京都6首長は8/12に提言しています:「自宅及びホテルでの患者の診療と治療に結びつける仕組みづくり」「酸素ステーションの増設」「迅速な検査体制」と。

鎌ヶ谷市も2021年8月26日「現在感染者累計1249人、入院中16人、自宅療養65人、入院ホテル療養調整中22人、ホテル療養2人」となっています。

105人の陽性者のうち16人しか入院できてません。

自宅療養。ホテル療養者への医療支援の強化と実施が望まれます。鎌ヶ谷市から千葉県へ又国へ“軽症者の段階から療養でなく診療・治療体制を作るよう”要請すべきです。鎌ヶ谷市はどう考え行動しますか？

医療は千葉県の管轄でも市民の命と健康を守ることは市の役割りでもありません。是非行動を起こしてください。

*以上について9月25までに文書で回答をいただきたく存じます。よろしくお願い申し上げます。



令和3年9月22日

「民主と自治の会」

藤代 政夫 様

渡邊 俊彦 様

戸部 光枝 様

鎌ヶ谷市長 芝田 裕美



9月6日付け「申し入れ」について（回答）

令和3年9月6日付けで申し入れのありましたこのことについて、下記のとおり回答いたします。

記

I、

Q1、Iへの回答で「PCR検査の実施も計画しております」とありますが具体的にどのような計画なのでしょうか？

【回答】

新型コロナウイルス感染症に対する不安感の軽減を図るとともに、陽性者を早期に発見、対応することにより感染拡大を未然に防止するため、市内の小中学校、放課後児童クラブ、保育園等において児童生徒、園児、利用者及び従事者が新型コロナウイルス感染症に感染したことが判明した場合、各施設において行政検査の対象とならないが、感染の恐れがある方に対して、市独自でPCR検査を実施する方向で計画の検討を進めております。

II、

Q2、IIへの回答で「基礎疾患の方の全体数を把握できていないが8/10に基礎疾患を有するとして4250人の方に接種券を発送した」とありますが4250人の方はどのような情報から把握した人なのでしょうか？

【回答】

令和3年6月15日から、市ホームページ等を通して基礎疾患のある方からの申し出を受け、接種券を発送しております。また、内部疾患等、新型コロナワクチン接種における基礎疾患を有する身体障がい者手帳の所持者等にも発送しております。これらの数を合わせて、8月10日までに接種券を発送した方の合計が4,250人となっております。

Q 3、ワクチン接種状況について：今回の回答時（9 / 25 マデ）直近のデータについて教えてください。

* 64歳以下の方のワクチン接種率は1回（ ）% 2回（ ）%？

【回答】

9月20日時点の情報が直近のデータとなりますが、64歳以下の方の新型コロナワクチン接種率は、1回目が55.3%、2回目が35.9%となっております。

* 4250人の基礎疾患のある方のワクチン接種率1回、2回は？

【回答】

現在、国のワクチン接種記録システム（VRS）に接種歴等の情報を入力しておりますが、すべての市民が基礎疾患等の区別なく入力されているため、基礎疾患のある方のみを抽出した形で接種率を出すことはできません。

* エッセンシャルワーカーとしての市内高齢者施設・障害者支援施設の従事者、小中学校・保育園・幼稚園・放課後児童クラブの職員の方々のワクチン接種率は？1回2回それぞれどうでしょうか？

【回答】

まず、市内高齢者施設の従事者の接種率につきましては、1回目が89.8%、2回目接種が85.3%となっております。

また、障がい者の入所施設である障害者支援施設の従事者の接種率につきましては、1回目、2回目ともに約90%となっております。

次に、小中学校教職員の接種率につきましては、9月に入ってから優先的に接種を行い、9月18日までには、本市での接種希望教職員の全員が2回目接種完了、または1回目の接種が完了しており、接種率は81%となっております。

また、市内の保育施設や私立幼稚園の職員の接種率につきましては、市では把握しておりませんが、市では現在、市内の公立・民間保育施設、私立幼稚園の従事者で接種を希望する方に対して、市内・市外在住を問わず接種を順次進めているところであり、9月18日には接種が全て完了しております。

最後に、放課後児童クラブの支援員でワクチン接種を希望する方につきましてもすべて接種は完了しております。

Q 4、職域ワクチン接種が始まっていますが、市内ではどのくらいの方が接種されますか？団体数、接種者数について教えてください。

【回答】

職域接種は、厚生労働省に直接申し込みを行った上で実施するものであり、市ではその接種者数等は把握しておりません。なお、職域接種においても、住民接種同様、接種済みの方は国のワクチン接種システム（VRS）に入力することとなっておりませんが、その区分等は不明であり、把握ができるのは全体の接種済みの人数のみとなります。

Q 5、ワクチンの国からの供給が心配されます。

* 鎌ヶ谷市の考える接種予定数量の何%が供給されますか？

【回答】

令和3年9月15日現在、本市には105箱、121,875回分のワクチンが供給されております。国は、12歳以上の人口の8割が2回接種できるだけのワクチンを確保するとしております。本市においても、8割程度の方が接種を受けるとの想定であり、希望量はすべて供給されるものと考えております。

* 希望する方ほぼ全員の2回接種が終わるのはいつ頃ですか？

【回答】

国においては、希望するすべての対象者への接種を令和3年10月から11月にかけて終わることを目指していることから、本市においても、それまでに終わることを目指して接種を進めており、順調に接種は進んでおります。

III、

Q 6、鎌ヶ谷市のPCR検査状況の回答をいただきましたが、高齢者施設入所者で希望者へのPCR検査の実施状況について：

* この事業の予算額・検査予定人数は？どこまで実施されていますか？実施人数と、それは入所者総数のうちの何%になりますか？

【回答】

高齢者施設等でのPCR検査助成における令和3年度予算額につきましては、650件分のPCR検査委託料を含む約14,957千円を措置しておりますが、4月から8月までの実施検査件数は13件となっております。

この検査は、市内在住の65歳以上の高齢者で、市内高齢者施設及び短期入所生活介護を提供する事業所に入所・利用している方や、新たに入所・利用する方のうち、検査を希望する方を対象としておりますが、13件のすべてが新規に入所・利用される方の検査となっております。なお、入所者総数に対する割合は把握しておりません。

*原則1回でなく定期的に1回の検査という方向を検討すべきです。鎌ヶ谷市は検討しませんか？

【回答】

新型コロナウイルス感染症の状況や財源、他の機関で実施している検査等の状況を鑑み、効果的なPCR検査の活用について検討してまいりたいと考えております。

Q7、「県の事業として高齢者施設の従業員・障害者入所施設の職員・通所施設の職員に対してPCR検査が行われている」とのこと。鎌ヶ谷市内の施設のどのくらいの施設で実施されているのか？どのくらいの従事者・職員が実施されているのか？（県が実施していることですが鎌ヶ谷市内の実態を把握しておくべきものと思われるのでお尋ねします）

【回答】

高齢者施設における検査数につきましては、千葉県の所管となりますが、個別の公表については千葉県で判断することでした。なお、千葉県の実施事業としては8月で一旦終了し、9月以降は、日本財団が実施しているPCR検査を活用するよう千葉県から通知されたところです。

一方、障害者入所施設につきましては、千葉県で令和3年3月から障害者支援施設の職員に対するPCR検査を実施し、6月からは通所系の障害福祉サービス事業所の職員に拡大し実施しておりますが、鎌ヶ谷市内の施設では12施設で延べ967の方が検査を受けております。

Q8、発熱外来医療機関でもPCR検査をやるようになったと思われませんが

*鎌ヶ谷市内の発熱外来医療機関でのPCR検査：検査出来る検査数はどのくらいですか？

【回答】

発熱等の症状がある場合に相談ができる医療機関につきましては数カ所公表されておりますが、検査可能な数の公表まではされておられません。

*習志野保健所にはPCR検査器が1台から2台になりました。鎌ヶ谷市民がPCR検査を受けられるキャパは医療機関を含めてどのくらいですか？

【回答】

習志野保健所の検査可能数は公表されておられません。また、発熱外来の検査可能数も同様に公表されておられません。

Q 9、鎌ヶ谷市が実施しているのは、「65歳以上で高齢者施設入所者の希望者に対してPCR検査をする」ということになっていますが、どうして65歳以上の希望者全員にしなかったのですか？（国の補助事業は“65歳以上・基礎疾患のある人の希望者に対してPCR検査をする”であったはずですが）

【回答】

高齢者施設等におけるPCR検査助成を実施した経緯につきましては、限られた財源の中で、有効な新型コロナウイルス感染症対策を実施していくため、高齢者施設等での集団感染の抑制を最優先とし、高齢者施設等でのPCR検査助成を実施したものです。

Q 10、PCR検査に関する回答で「加えて小中学校や保育所、放課後児童クラブや障害者支援施設等の利用者及び従事者等に対するPCR検査費用の助成についても検討しており」とあり前向きな姿勢うれしく思います。ではこの具体的内容はどのようなものになりますか？時期・対象者・助成額等について教えてください。

【回答】

市内の小中学校、放課後児童クラブ、保育園、障害者支援施設等において、教職員、児童生徒、園児、利用者及び従事者が新型コロナウイルス感染症に感染したことが判明した場合、新型コロナウイルス感染症に対する不安の軽減を図るとともに、陽性者を早期に発見、対応することにより、感染拡大を未然に防止するため、Q 1と同じPCR検査を実施する方向で検討を進めております。

なお、本検査の実施につきましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して行う予定であり、鎌ヶ谷市議会9月会議で補正予算の追加上程で対応したいと考えております。

具体的な検査実施につきましては、検査対象となる皆さんの安全性・利便性を第一に考慮した制度設計を構築した上で実施してまいります。また、助成額につきましては、全体で約500万円を見込んでおります。

IV、

Q 11、感染者の入院状況と医療機関等についての回答では、基本的には県の習志野保健所の管轄・判断といった回答ですが鎌ヶ谷市として把握している必要性があると思うのでお尋ねします。

*最近小学生・中学生・保育園児・幼児園児等の感染者が発症していますが12歳以下の方々の発症状況は無症状・軽症・中等症・重症のうちどのような方が多いのですか？

【回答】

新型コロナウイルス感染症の感染者からの聞き取り調査並びに公表は機微情報でもあることから、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき全て保健所が集約しており、年代や性別等の県から提供のあった情報のみ市で把握しております。そのため、重症度については把握しておりません。

Q12、政府は医療病床の逼迫に対して「自宅療養を基本にして」（2021年8月3日の事務連絡）といい始めています。本来感染者は入院が原則のはずです。医療崩壊の状況の中での対応と思われそうですが、そこで伺います。

* 自宅療養中に入院できず死亡した事例はどのくらいありますか？千葉県では？東葛では？鎌ヶ谷では？

【回答】

千葉県では、新型コロナウイルス感染症により死亡した方は令和3年9月14日現在、947人と公表されておりますが、詳細な住所等は公表されておられません。また、市に公表されている人数につきましては、「退院」、「療養解除」及び「死亡」を合わせた数となっており、死亡した方のみの人数は把握しておりません。

* 「自宅療養」「宿泊療養」は「療養」であって「医療」ではないといったそもそもの組み立てが間違っており、大きな問題を引き起こしています。

千葉県は：8/17の『自宅療養者への支援について』で「パルスオキシメータの確保、配食サービスの確保」と同時に「自宅療養者の症状が悪化した場合に備えた外来・往診等について130程度の医療機関に協力いただいております」「酸素供給に対応できる往診医や訪問看護ステーションの確保と・・・酸素濃縮装置の確保」と医療提供体制をとろうとし始めています。

柏市は：自宅療養者のうち柏保健所が必要と判断した方に対して地域の医療機関、訪問看護ステーション、薬局が連携した「在宅医療支援チーム」と市が契約した「在宅医療機器供給事業者」の医療支援によって・・・と“在宅医療支援体制”を強化しています。医療機関は電話での診療・往診・訪問看護・処方箋の発行・入院要請と訪問看護ステーション・薬局・機器提供事業者と連携して支援を強化しています。

東京都6首長は8/12に提言しています：「自宅及びホテルでの患者の診療と治療に結びつける仕組みづくり」「酸素ステーションの増設」「迅速な検査体制」と。

鎌ヶ谷市も2021年8月26日「現在感染者累計1249人、入院中16人、自宅療養65人、入院ホテル療養調整中22人、ホテル療養2人」となっ

ています。

105人の陽性者のうち16人しか入院できていません。

自宅療養。ホテル療養者への医療支援の強化と実施が望まれます。鎌ヶ谷市から千葉県へ又国へ“軽症者の段階から療養でなく診療・治療体制を作るよう”要請すべきです。鎌ヶ谷市はどう考え行動しますか？

医療は千葉県の管轄でも市民の命と健康を守ることは市の役割でもあります。是非行動を起こしてください。

【回答】

習志野保健所管内では、令和3年8月20日の205件をピークとして、感染者が減少してきております。ピーク時はファーストコンタクトまで4日～5日程度を要しておりましたが、現在は1日～3日程度になっていると伺っております。

また、保健所は医療機関から提出される発生届から重症度を判定し、入院等の対応を急いだ方がよい場合は間を置かず連絡する等の対応を行っております。

さらに、千葉県は電話による健康観察の負担を軽減するため、以前よりSNSを用いた健康観察を行っておりますが、若い世代の感染が拡大していることから、今後、インターネット等の慣れ親しんだ媒体の利用を拡充していく予定であると聞いております。

自宅療養中の食料品の確保につきましては、発熱外来や保健所において、陽性となった際にお渡しするご案内の中で、療養中の配食サービスについてお知らせしております。また、県は、この配食サービスをこれまで1日当たり100件程度としていたところ、500件程度まで引き上げることを決定しております。

市には、自宅療養中の方からの食料品の確保についてのお問い合わせは現在のところありませんが、ご相談があった際は、その方の状況に応じ、県の配食サービスや民間のスーパーの宅配等をお知らせする等の対応を行ってまいります。

本市では、昨年末に保健所業務がひっ迫した際、保健所と協定を結び、職員を保健所へ派遣して新型コロナウイルス感染症業務に従事させることといたしました。また、9月9日の千葉県新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、感染者への支援を充実させるため、市町村と連携して自宅療養者等に対する健康観察等を実施していくことが発表されました。これに伴い、今後も、習志野保健所と連携を密にし、必要に応じて職員の派遣や健康観察業務等の支援を行ってまいります。